

議会だより

No.  
184

令和8年4月15日

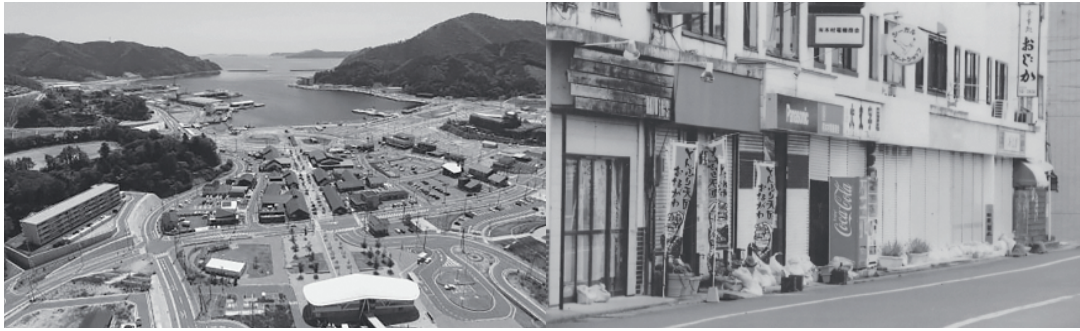
# おながわ

ONAGAWA  
100th Anniversary



次の100年へ  
START





## 3月定例会 施政方針

# で創る、次の100年～

## 100周年記念事業

**商品券事業 1億3050万円**

町民1人に対して  
商品券2万円を配布します。

**音楽イベント 6600万円**

観客1万5000人規模の  
音楽イベントを開催します。

**地域活動交付金 2100万円**

各地区にコミュニティ活性化の  
ための交付金を送ります。

**町民提案事業 300万円**

各団体などへ100周年向けの  
企画に事業費を交付します。

議員の提言もさらなる躍進のエネルギーに

100年の節目を祝い、各地区の活動を強力にバックアップ。  
お祭りの興奮も、暮らしの潤いも。町民の皆さんとともに、101年目への大きな一歩を踏み出します。

# 次の100年 に向けて!



## 表紙説明

震災の教訓を風化させず、高台避難を体に染み込ませる神事「女川復幸男」。「逃げる!」の合図で坂を駆け上がり、次世代へ命を守る意識をつなぎます。  
震災から100年先も避難の文化が続くよう、町の大切な伝統を築きます。



# おめでとう100歳! ~みんな

## 養殖漁業

**問** 新たな養殖、種苗、生産の取組をどのようにサポートし女川の産業を手助けしていくのですか。

**答** 補助金等の財政支援のみならず、海域利用の調整や防疫上の課題解決など物心両面でのサポートを重視します。現在はソフト支援が中心だが、今後は事業の妥当性を見極めつつ、資材購入等の直接支援も視野に柔軟に対応していきます。

## 避難道

**問** 国道398号バイパスの整備で、町としてのフォローアップを行ってほしい。

**答** 国交省による用地交渉開始後、町は2、3カ月ごとの情報共有や交渉同席を通じ、地権者の個別意向を把握します。町の重要事業として、移転先確保などのニーズに寄り添い最大限善処し、事業進捗を図る考えです。

## D X 推進

**問** D Xと対面サービスの向上、事務効率化で生む時間を対面相談へ充当してほしい。

**答** デジタルに不慣れた人こそ恩恵を受けられる環境を整え、事務効率化で生まれた時間を対面相談や寄り添う支援に充たわっていきま。時代が変わっても不可欠な対人対応力を大切にし、温かみのある行政サービスを維持していきます。

## 財政政策

**問** 長期的な財政方針は安泰期に基盤を整えるべき、何をやって何を減らすのですか。

**答** 基本サービスの持続を最優先とし、将来は町独自の施策の見直しや受益者負担の適正化も視野に検討を進めます。今のうちから経営意識を持ち、時代に合わせた事業統合や余分なサービスの削減を行うことで冷静に将来へ備えていきます。



伊藤さんご一家

### 家族の声

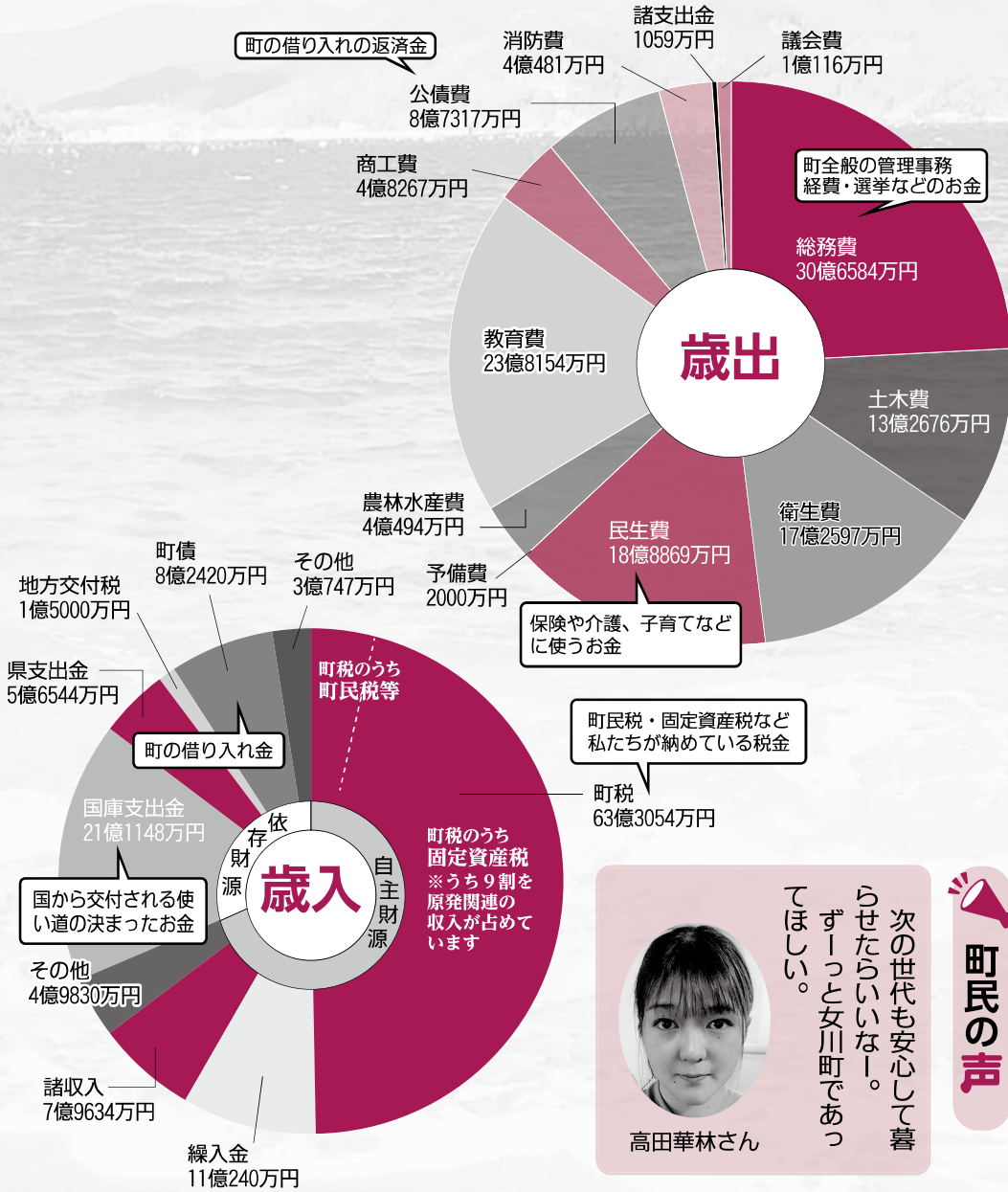
女川は子育てに対する支援が手厚くて暮らしやすいです。四季折々のお祭りなど行事がたくさんあるのも嬉しい。せっかくの海の町なので水辺があるといいし、幅広い年齢の子どもが遊べる公園もほしいです。

## 一般会計予算の説明

令和8年度の一般会計予算は、令和7年度より増加しました。その要因として町制施行100周年に関する記念事業費や、小中学校の給食費および保育所における給食費・副食費の無償化、さらに令和9年度から導入となるデマンド型のバス交通システムの準備などが主なものです。

## 3月定例会

## 予算審査



# 町の財政 今とこれから

### 町民の声

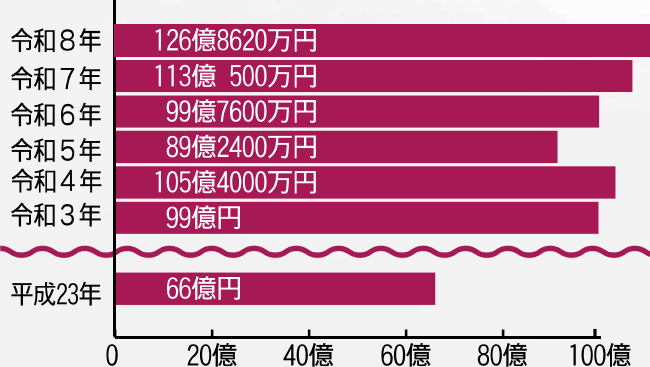
高田華林さん

次の世代も安心して暮らせたらいいなー。ずーっと女川町であってほしい。

**予算審査特別委員会概要**

3月4日から3月10日まで開かれました。当初予算は126億8620万円とし、今後の財政課題、新規事業などを審議し、一般・特別・事業会計予算を原案のとおり可決しました。委員長 佐藤誠一 副委員長 木村公也

## 一般会計予算の推移



女川小の子ども写真家探検隊がこのページの背景写真を夏浜で撮影しました。探検隊は女川町の良いところを撮影してポストカードをつくり、たくさんの人へ紹介しています。

※集合写真は写真家の武川健太さん撮影です。

# 一般会計予算 126億8620万円

令和7年度比 12.2%増

## 人口“約6000人のまち” その予算規模は？

県内町村名	人口	令和8年度予算総額	1人あたり歳出額
宮城県女川町	5699人（県内33位）	126億8620万円	約220万円
宮城県大衡村	5509人（県内34位）	49億8000万円	約90万円
宮城県七ヶ宿町	1148人（県内35位）	25億9300万円	約230万円
県外町村名			
山形県大石田町	5524人	81億5500万円	約150万円
岩手県西和賀町	4452人	77億900万円	約170万円

（令和8年2月末時点）

### 一人ひとりの暮らしに投資

女川町は、同規模の自治体と比べて一人あたりの予算が高い水準にあります。  
これは町民一人ひとりの暮らしやサービスに、しっかりとお金が使われていることを表しています。

### 将来を見据えた今後の見通し

原発関連の税収は、制度や設備の変化により将来的に減少する可能性があります。そのため、今ある財源を大切に使いながら、将来に備えた持続可能な財政運営が求められています。

### 主な取り組み内容

こうした財源は、子育てや教育、福祉、防災、インフラ整備など、日々の生活に直結するさまざまな分野に活用されています。  
町民の安心と暮らしやすさを支える取り組みが進められています。

### 町民の暮らし全体を支える財源

一方で、町の固定資産税の約9割は原発関連によるものです。  
女川町の財源は、この収入に大きく支えられているのが特徴です。

### ギカイの視点

本町の財政は、原発関連収入が重要な役割を担っています。  
財政規模の大きさを活かして今ある暮らしを支えながらも、将来にわたって安定した町政運営が図られるよう注視していきます。

### 町に入る原発関連分の固定資産税（見込み）

令和7年度	約42億8600万円
令和8年度	約46億700万円
令和9年度	約39億9700万円
令和10年度	約40億7900万円
令和11年度	約39億300万円



# デマンド交通導入委託

1754万円

## 議会での継続した調査での提言

議会では常任委員会を中心に町民の足となる地域公共交通について調査しています。継続して町民の声を反映した提言を実施しています。

### デマンド導入は不可欠

**提言2** (平成29年8月提言)  
 今後の高齢化社会の中で、本町の最大の課題は交通手段(足)の確保であり、高台団地を循環するバスやデマンドの導入は必要不可欠と思われる。

令和9年度  
 デマンド運行予定

令和8年3月度  
 関連経費計上

### 一体的な交通体系を

**提言3** (令和7年2月提言)  
 町民バス、スクールバス、保育所通所タクシー等担当課をまたいだ包括的な住民の交通手段を構築すべきである。

令和2年  
 20バス実証試験

令和3年10月  
 現在の町民バスの運行開始

### 町民ニーズに応える運行を

**提言1** (平成27年2月提言)  
 町民バスの運行時刻等について、アンケート調査の内容や復興状況に合わせ、なお一層きめ細やかで、円滑な運行に努力され、町民のニーズに多く応えられるようにとの、本委員会の結論に達した。

平成23年3月  
 東日本大震災発生

### 他にもこんな声

- ・ガソリン代が上がっているので空バスを減らすのは賛成。
- ・デマンドは離半島だけで、町中心部は現在の路線運行でもいいのでは。
- ・予約の電話は何時までつながるのが気がなる。

普段は老人クラブの会員証を提示しながら、往復でも200円で利用できて、タクシーよりも安く利用できています。金額や現在の利便性は変えないでほしいです。

志賀 清子さん



# 町民バス デマンド化に向けた動き

## 本格運行は令和9年度

デマンド交通導入委託料の予算が計上されました。令和8年度では地域交通計画の中間を迎える中で、町民へのアンケートが実施されます。令和9年度からは現在の町民バスにデマンドシステムを導入して予約運行をしていくことが検討されています。

# 女川の明日を決める

# 真剣議論

## 町の収入源はどこからか

**問** 固定資産税で電力関連分の割合を土地、家屋、償却資産で、各何%を占めていますか。

**答** 固定資産税の全体では92%で、個別に、土地では27%、家屋75%、償却資産では97%を占めています。



再稼働したが、現在点検中

## 鹿を処理するプラントの建設

**問** 有害鳥獣で鹿を処理するプラントでは、どこまで処理するのですか。

**答** 鹿を分解処理し減容化すると、骨と皮が残りますが、これも破断機で粉碎し広域処理施設に持っていくようになります。



活用方法を探れ

### 町民の声

ビックリしました。こんなに女川町に貢献しているんですね。



勝又 和子さん

### 町民の声

本当に早く作ってほしい。においがすく、暖かくなるとハエなども増え、衛生的に厳しいです！



小田島 綾香さん

## 何かに特化したこども園を

**問** 認定こども園は保育所とは違った、何かに特化した施設になってほしい。

**答** まずは体制面も含め、円滑な運営を図り、将来的には特徴あるこども園づくりを目指していきます。



待ち遠しいなあ

## 町長の意気込みは

**問** 隣の南三陸の観光客入込数は120万人で女川町は55万人を見込んでいるが、もう少し意気込みを見せてほしい。

**答** 今年は100周年でいろいろ取組も多くなっており、結果が付いてきて目標を達成できるのではないかと。忙しい1年になると思いますが官民一体でやっていきます。



にぎわう道の駅

### 町民の声

100周年の力も借りて、イベントも盛り上がり、集客UPにつながればいいな。



金澤 悦子さん

# 子育て支援の まちづくりに

## 適切な施設管理ですか

**問** 指定管理料の圧縮は良いのですが、周辺の清掃、整備、利用者への対応など十分な面の指導は。

**答** 議会の意見書を受け、再度適切に管理する旨、打ち合わせしました。



総合運動場及び女川スタジアム  
公園指定管理

8121  
万円

気持ちよく利用してもらうために

## 地域と学校で子どもたちを支援

**問** 女川っ子学び・体験等の事業委託とはどのようなものですか。

**答** 放課後や休日に多様な学び、体験機会を提供し、次世代のリーダー育成等地域と学校が協働し支える内容です。



女川っ子学び・体験・リーダー育成  
包括事業委託

1690  
万円

みんなでつくる新しい教育

## 保育所・学校給食無償化に

**問** 学校給食無償化に伴う国からの交付金はいつ頃どのくらい入金の見込みですか。

**答** 2月20日付けで文部科学省より通知があり、基準額5200円の11カ月分が交付予定ですが、時期は示されていません。



賄材料費

2759  
万円

4月から無償化はじまります

## 図書館の貸出しはネット検索で

**問** 図書管理システムは、ネット上での検索システムの導入となりますが具体的な進め方は。

**答** 新年度に入札、機種交換をし、図書係にレクチャーしつつ、早々にホームページの開設、広報等周知を図ります。



図書管理システム更新委託

338  
万円

図書検索がぐっと身近に

# 令和8年度 一般会計予算

認定

賛成8人 反対2人



QRコードから動画が見られます  
討論は9分10秒から

## 討論

私はこう考える

賛成

100周年の節目  
持続可能性の高い  
施策

宮元 潔 議員

町政施行100周年という歴史的節目を祝うとともに、次の100年を見据えたインフラ整備と地域活性化の両立を目指す意欲的な内容です。特筆すべきは、音楽イベントや式典を通じたシ

反対

原発に依存しない  
再生可能エネルギー  
のまちづくりを

阿部律子 議員

町政施行100周年の取組として、1人2万円の商品券の配付、再生可能エネルギーの補助枠の拡充、蓄電池への補助、学校給食の無償化、デマンド型バス交通システムの導入にむけた準備等は

ビックプライドの醸成に加え、約1.5億円の商品券事業により物価高騰対策と地域経済循環を同時に図っている点です。さらに、社会教育施設や認定こども園の新築、女川港の産業基盤強化など、教育と産業への投資も加速させています。これらは町の持続可能性を高める極めて実行性の高い施策であり、輝かしい未来を切り拓くものとして、本予算案に賛成いたします。

評価しますが、乾式貯蔵施設の建設同意や使用済燃料への課税条例など女川が半永久的に核のごみを受け入れることへの懸念は払拭できません。日本は地震国であり絶対に事故は起こらないと断言はできず、今後の行政のあり方は原発に依存せず、再生可能エネルギーに力を入れつつ、基幹産業である漁業水産業の発展にさらに力を入れた町づくりを切に望み、総合的な考えのもと反対討論とします。

# 令和8年度特別会計予算

### 地方卸売市場特別会計

歳入歳出にそれぞれ9592万円  
(前年度比2億3972万円の減)

**問** 修繕費1315万円ですが、前年度より増額の理由は。

**答** 排水処理施設のポンプ2台分の交換で約800万円、その他の修繕費500万円です。

### 国民健康保険特別会計

歳入歳出にそれぞれ7億8707万円  
(前年度比5128万円の減)

**問** 保険税で2110万円減額の要因は。

**答** 前年の所得と比較して減になっている部分と被保険者数と世帯数の減によるものです。



春の訪れ 水揚げに期待

### 介護保険特別会計

歳入歳出にそれぞれ9億1837万円  
(前年度比1677万円の増)

**問** 保険給付費のうち、居宅介護サービスが600万円の増で、施設サービスは前年度と同じですが要因は。

**答** 要介護認定者数は横ばいですが、要介護1・2が増えている状況で、短期入所療養介護(老健)の利用件数増が主な要因です。

# 3月 定例会

## 新たな

# 用地活用の創出

### 3月定例会の あらまし

## 会期 3月2日～12日

6人の議員が一般質問を行い、その後、一般議案、補正予算、予算審議、人事案件を慎重に審議し、すべての案件を原案どおり可決しました。

### 一般議案

#### 財産の取得

◆企業誘致等用地として活用

取得予定額 8920万円

◆取得相手  
宮城県知事 村井嘉浩  
◆土地の所在地  
種別及び数量  
女川町市場通り  
71番 72番 73番  
74番3  
雑種地11, 658㎡

#### 契約の一部変更

◆令和6年度万石浦漁港大沢地区防波堤工事

◆契約前の金額

2億3430万円

◆変更後の金額

2億7317万

6千円

### 条例の制定

◆女川町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

◆女川町景観条例

◆女川町行政手続条例の一部改正

◆集会場の設置及び管理に関する条例の一部改正

◆針浜集会所完成に伴う改正



コンパクトな針浜集会所

◆女川町職員等の旅費に関する条例の全部を改正

◆議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

◆特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

◆女川町長・副町長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正

◆女川町第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正

◆職員の定年の引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正

◆女川町子育て支援センター条例の一部改正

◆乳児等通園支援1時間当たり1人300円を上限とする改正

◆女川町介護保険条例の一部改正

◆女川町海岸広場条例の一部改正

◆女川町道路占用料条例の一部改正

◆女川町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正

◆指定管理者に管理を行わせる公の施設の構成施設の追加  
管理施設にビクターバスおよび観光船用浮桟橋を追加する改正

◆権利の放棄について  
医療施設使用料の債権者の所在が不明で回収が見込めないため

◆権利の放棄について  
町営住宅使用料および共益費に関する債務者との家賃訴訟判決が確定したため

◆権利の放棄について  
町営住宅使用料および共益費に関する債務者との家賃訴訟判決が確定したため

◆権利の放棄について  
町営住宅使用料および共益費に関する債務者との家賃訴訟判決が確定したため

◆権利の放棄について  
町営住宅使用料および共益費に関する債務者との家賃訴訟判決が確定したため

◆権利の放棄について  
町営住宅使用料および共益費に関する債務者との家賃訴訟判決が確定したため

◆権利の放棄について  
町営住宅使用料および共益費に関する債務者との家賃訴訟判決が確定したため



# 使いやすくなった 小型漁船船揚場



石浜小型漁船船揚場改修工事完成

## 補正予算

歳入歳出からそれぞれ8億4509万6千円を減額し、予算の総額を12億4477万4千円としました。

### 歳出の主なもの

#### 増額分

- ◇水産加工団地排水処理施設損失補償金 2844万3千円
- ◇宮城県水産基盤整備事業負担金 623万円
- ◇住民基本台帳システム改修業務委託料 174万9千円

## 減額分

- ◇針浜集会所建設工事費 641万円
- ◇民間賃貸住宅新築等支援金 1107万3千円
- ◇造成宅地擁壁整備工事補助金 600万円
- ◇地域おこし協力隊起業等活動費補助金 600万円
- ◇老人保護措置費 594万3千円
- ◇町有林間代業務委託料 2042万3千円
- ◇万石浦漁港施設整備工事費 3億8801万4千円

## 人事案件

- ◇小型船揚場改修工事費 8346万円
- ◇上水道事業会計補助金 5480万円

### ◇監査委員

次の方を選任すること  
に同意しました。

木村 繁 氏

### 任期

令和8年4月1日～  
令和12年3月31日

### ◇固定資産評価審査委員会委員

次の方を選任すること  
に同意しました。

木村 繁 氏

### 任期

令和8年5月8日～  
令和11年5月7日

稲垣 宣孝 氏

### 任期

令和8年4月1日～  
令和11年3月31日



排水処理施設全景(市場通り)

## 第1回臨時会

会期

1月27日

### ◇専決処分、承認の件

令和7年度一般会計  
補正予算

・歳入歳出予算にそれぞれ919万1千円を追加し、予算の総額を119億6661万4千円としました。

・歳入内容は、総務費選挙費において、衆議院議員選挙関係経費を追加計上しました。

◇契約の一部変更  
小型漁船船揚場改修工事の追加工事

## 一般議案

- ・契約変更前金額 4億7525万2千円
- ・契約変更後金額 5億453万8千円
- ・契約相手方

## 丸本組

田中建設企業体  
◇議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定

◇女川町長、副町長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定

◇女川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

◇女川町第一号会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定

## 補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ1億2325万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ120億8987万円とする。

## 歳出の概要

・人事院勧告に基づく人員費の補正を講じ、特別会計への繰入金調整  
・他、特別会計での議題がありました。

# 一般質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

6 議員が質問

ズバリ

# 町政を問う

宮坂 千尋議員…………… P 13

(1) 遊具望む声どう受け止める

高野 晃議員…………… P 16

(1) 住民の不安に寄り添う原発行政を

阿部 薫議員…………… P 14

- (1) 内山地区不動沢川流域環境整備を
- (2) 町道浦宿17号線道路拡幅事業案は
- (3) 旧女川二小四中建物状況調査結果

阿部 律子議員…………… P 17

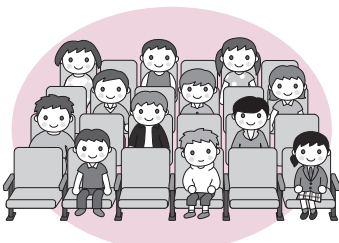
- (1) 介護保険の現状と制度改善を
- (2) 孤独死を防ぐために

隅田 翔議員…………… P 15

- (1) 屋内の遊び場を
- (2) 放課後楽校の良さを継続して

鈴木 公義議員…………… P 18

- (1) 町政施行100周年に向けて
- (2) 保育所の防犯対策の強化は



議会の傍聴はどなたでもできます。

※ 各ページのQRコードから一般質問の動画が見られます。

※ 3問目の一般質問は、紙面の都合上、見出しのみの掲載としています。

次回の定例会は6月12日からの予定です。

なお、議会中継は女川町議会ホームページで配信しますので、ご視聴願います。

詳しくは、町議会事務局(電話54-3131内線312)へお気軽にお問い合わせください。

みやさか

ちひろ  
千尋議員



# 問 遊具望む声どう受け止める

## 答 要望を伺い検討します

答弁者 町長、建設課長、教育局長

**問** 公園は子どももの成長や学び、世代間交流を育む地域に欠かせない公共空間です。子育て世代を対象に調査した結果では、全部で75件の回答があり、そのうち約8割の方が遊具不足と回答しており、複合遊具の設置といった具体的な要望が寄せられています。

**答** こういった子育て世代のニーズを踏まえうえで、公園整備に関する見解を伺います。

**答** 公園の整備は、持続可能なまちづくりの観点からも、遊具やトイレなどを女川総合運動公園など拠点となる公園広場に集約することで、世代間交流の場にするよう目指していくものと考えています。街区公園への遊具の設置ニーズも承知していますが、各地区の利用状況や子育て世代の声、区からの要望等を伺いながら、遊具の新設や更新について検討していきます。

**問** 住民へ分かりやすく公園整備の状況を周知することは行政の役割です。遊具の種類を示す案内等、情報発信の工夫について見解を伺います。

**答** 公園に関する情報発信は、これまで積極的に実施していませんが、今後は、公園の有効な活用につながるような情報発信を検討していきます。

**問** 総合運動公園をマッシュパーク2とするなど、にぎわいの場に再生していくことや、屋内施設が併設する利点を生かした使い方をPRすることや利用者の誘致を進めることが重要と考えますが、見解を伺います。

**答** 総合体育館のほか、第二体育館の活用方法については、屋内外におけるスポーツ活動だけでなく、地域との交流や文化活動の場としての機能を持たせ、コミュニティの活性化がより図られ、魅力的な施設となるようPRしていきます。



遊具が育む子どもの成長



安全管理の徹底を



# 問 内山地区不動沢川流域環境整備を

# 答 県が砂防事業に着手しています

答弁者 建設課長



環境悪化状況の不動温泉周辺

今年には町制施行百年目にあたりますが、いまだ行政管理の届かない地区が散在。町内中小河川60数か所のうち、内山地区不動沢川流域を取り上げ、伺います。

問 不動沢川流域は私的財産未処理問題の残存建物があり、違法性のあるトタン囲い施設跡の当局の認識度を伺います。

答 私的財産処理問題や違法性の行為があるかは確認できていません。

問 川の下側には、西区住宅地が広がり、冠水被害を危惧、水路整備の必要性検討を伺います。

答 宮城県が砂防事業として上流側の堰堤の改修に着手しています。

問 水路は西区、上三区の区境目であり、両区の緑地傾斜地の環境整備策を早急に検討すべきでは。

# 問 町道浦宿17号線道路拡幅事業案は

# 答 丁寧に対応しています

答弁者 建設課長



町道浦宿17号線拡幅計画現状

問 道路拡幅事業の設計に伴い、概要と進め方について、特に地元住民への設計、今後の予定等についての説明は十分と認識されているか、見解を伺います。

答 町道浦宿17号線、通称「寺道」は、令和6年度末に、国道398号から女川第一小学校跡地内の道路整備が完了しています。その先の既存道路の拡幅事業についても着手しており、今年度は、測量設計や移転対象となる家屋の補償調査を進め

ている最中です。住民への説明については、特に移転対象となる地権者を中心に戸別訪問を行い、直接的な意見や要望をお伺いしながら丁寧に進めてきたところです。今後も、具体的な道路の線形や工事の進め方が決まり次第、説明の場を設けて地域住民の皆様への影響等について説明します。

なお、令和8年度から建物補償や用地買収、令和9年度に工事着手の予定です。

## 問 旧女川二小四中建物状況調査結果

## 答 老朽化による劣化や損傷を確認

答弁者 総務課長、企画課長

隅田 すみた

翔議員 しゅうぎん



## 問 屋内の遊び場を

## 答 整備を検討していきます

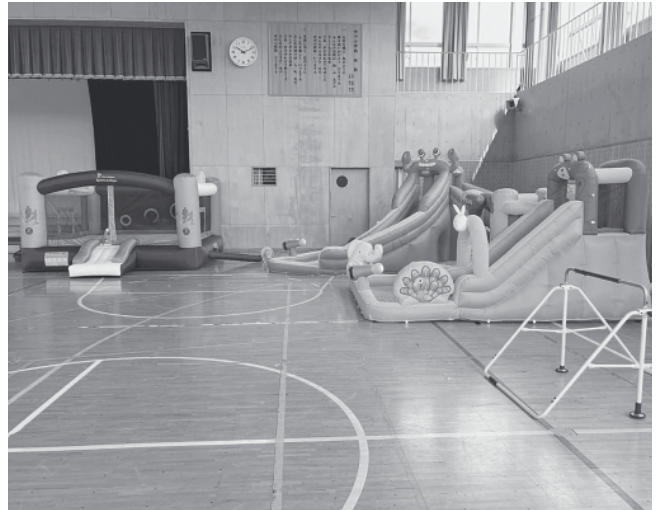
答弁者 町長、教育局長



**問** 子育て世代からは屋内での遊び場を望む声が多く聞かれます。そこで第二体育館（旧女川小体育館）を屋内での遊び場として、まずは試験的にも運用してみてもいいですか。

**答** 現在利用している既存団体と調整しながら、子どもたちの遊具等の設置を検討していきます。

**問** 総合運動場の施設整備について、庭球場周辺では停止したままの三面鏡時計や、冬季に使用不可のトイレなどを整備すべきでは。



第二体育館を活用して遊び場に

**答** 時計については倒壊等の懸念から撤去しますが、代替については検討します。トイレについても冬季使用が可能となる工夫をしていきます。

**問** 夏の暑さも年々厳しさを増しており、総合体育館のエアコン設置について、新年度動きを加速させるべきでは。

**答** まずは、置き型で対応し検証しますが、空調設置の議論は進めていきます。

## 問 放課後楽校の良さを継続して

## 答 継承・発展させていく方針です

答弁者 教育長、教育局長、健康福祉課長

**問** 放課後楽校が終了するとの通知に伴い、事業の継続を望む声や、児童の放課後の居場所がなくなることを不安視する声が寄せられています。そこで伺います。

**答** これまでの居場所づくりの理念は継承しつつ、学力や体力、非認知能力

**問** 代わりになる講座において、これまでのような頻度での実施や、児童の居場所づくりが望まれています。見解を伺います。



安心して過ごせる放課後に

**問** 今後の途中入所も含めて、放課後児童クラブへの児童の集中も懸念されます。すべての入所希望者を受け入れる体制が整っているのか伺います。

**答** 利用申込は前年とほぼ同数であり、新年度に必要な人員を配置し、利用希望者の受入れは可能であると見込んでいます。



# 問 住民の不安に寄り添う原発行政を

# 答 原子力発電所の安全は最優先

答弁者 町長、企画課長



**問** 令和7年5月26日および6月20日に運転から約半年で、水素濃度検出器2台が不具合を起こしましたが、その原因と対策はどうなっていますか。

**答** 東北電力では、2号機の原子炉を計画的に停止し、当該検出器2台と正常な検出器2台の計4台を交換し、その後、不具合は確認されていないとのこと、原因については調査中との報告を受けています。

**問** 10月22日の定期試験中に手動での操作が不能になった制御棒ですが、原因および対策はどうなっていますか。問題なのは災害時等に自動挿入できない状態となり、手動で挿入せざるを得なくなった場合に動作不能を起こしかねない事です。

**答** エアアの混入が原因ならば、しっかり対策をとらないといけないのではありませんか。

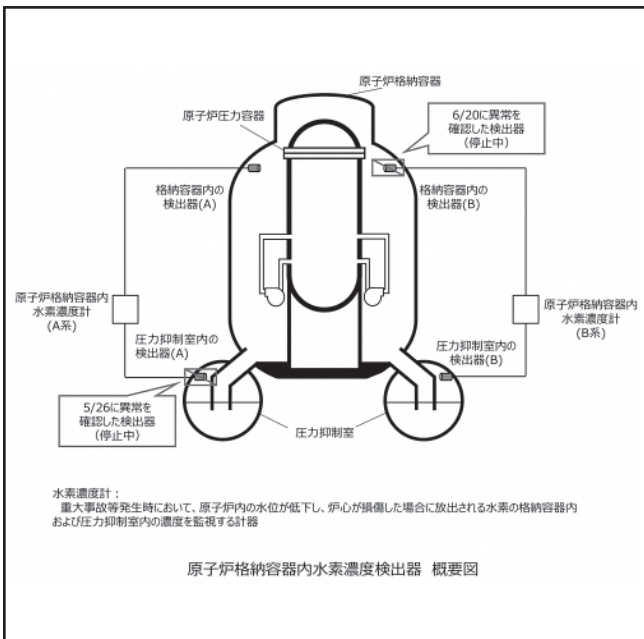
**問** 原因調査の過程で、定期試験同様の作業を行ったところ、当該制御棒

が正常に作動することが確認され、異常を示す警告等も発生しないことから当該制御棒は健全であると判断したとのことです。なお、原因は制御棒駆動機構への一時的なエアの混入等と考えているとのことです。

**問** 1月5日に中部電力は、耐震設計に関わる基準地震動を作成する際に、意図的に数値が低くなるようデータを改ざんした事を公表しました。原子力エネルギー協会は他の原発で不正は確認されなかったと発表しましたが、データまでは調べていません。当事者側の調査では安心につながりませんか。

**答** 基準地震動については、原子力規制委員会等で承認を得た資料等に基づいて基準をクリアしていると思っておりますので、町では要請をするようなことは考えていません。

**問** 女川原発について、宮城県が主導した第三者委員会による検証を要請すべきではありませんか。



半年で2台の検出器に不具合が



女川原発も第三者委員会の検証を

阿部 律子  
あべ りつこ  
議員



## 問 介護保険の現状と制度改善を

## 答 持続可能な制度構築と運営最適化

答弁者 町長、健康福祉課長

**問** 介護保険は制度開始から25年が経過。現在本町は訪問介護事業所がゼロですが、地域ケアネットワーク会議での課題は、

**答** 閉じこもりや交流が少ない方の見守り活動が課題となっています。

**問** 厚生労働省は、利用料の2割負担の対象拡大、要介護1・2の生活援助サービス等を総合事業に移行等の制度見直し案を出していますが、共同通信社が全国の自治体を対象とした調査結果で、9割超の自治体で「介護保



介護の負担増が心配

**問** 国に対し介護保険財政の国庫負担引き上げを訴えていくとともに、町独自の支援策も必要では、

**答** 介護現場の人材不足や制度の担い手不足などにより、他自治体同様ある程度危機感があります。

**問** 県や町村会と連携し要望します。また、制度の枠内で実施可能な取組を基本とし検討します。

## 問 孤独死を防ぐために

## 答 通報装置と地域で見守り体制強化

答弁者 健康福祉課長

**問** 町では一人暮らしの高齢者などの自宅に緊急通報装置を設置し、安否確認を実施することで、高齢者の生活の安定を図るとしていますが、令和6年度の設置台数は43台です。なぜ一人暮らしの方が600人程いると言われているのに利用者が少ないのですか。



緊急通報装置で安心の見守りを

**問** 令和5年度からの3年間で孤独死が12人とのことですが、町としても積極的に声掛けを行い、孤独死を防ぐ対策として普及させるべきと考えますが見解を伺います。

**答** 町広報のほか、行政区長、民生委員等への制度説明や地区座談会などさまざまな場での周知と介護サービス利用者に対する説明を関係機関と連携しながら徹底していきます。

鈴木 すすき

公義 議員 きみよし



# 問 町制施行100周年に向けて

## 答 この地に息づく精神を次代に継承

答弁者 町長、地域イノベーション推進課長、総務課長、産業振興課長



女川町町制施行100周年ロゴマーク

100周年という大きな節目は、単なる通過点ではなく、これまでの歩みを振り返るとともに、未来への新たな一歩を踏み出す重要な機会です。

問 これまでの100年の歩みをどう総括し、特に本町が守り続けてきた価値や誇るべき点は。

答 時代の波や壁に内外の人々が自らの変化を厭わず挑戦し続け、それを前向きに捉え支え合ってきた女川の歴史が気風と価値を育んだと思います。

問 100周年記念事業や、郷土愛の醸成や次世代への継承につながる取り組みは。

答 式典やイベントを通じて郷土愛の醸成を図り、町民提案事業への支援により住民主体のまちづくり文化の継承に繋がります。

問 次の100年に向けての思いは。

答 この地に息づく挑戦や変化を厭わない精神を次代に継承するための取組をしっかりと行っていくことが大切と考えます。

# 問 保育所の防犯対策の強化は

## 答 ハードソフト両面で安全を確保

答弁者 健康福祉課長

答 しおかせ保育所のみ防犯カメラ2台を設置しており、両保育所では施設周囲をフェンスで囲い、登降時以外は施設全体で錠錠するなど防犯対策を講じています。

問 防犯カメラをはじめとした、ハード面の整備状況を伺います。

答 近年、全国で保育施設や学校を狙った事件が発生しており、子どもたちの安全確保は重要課題です。そこで、本町の保育所における防犯対策の現状について伺います。



子どもたちの笑顔を守るために

問 危機管理マニュアルの整備や、不審者侵入を想定した訓練の実施状況を伺います。

答 不審者対応マニュアルを整備しており、不審者の侵入を防ぐための日頃からの備えと、不審者が侵入した場合に分けて項目を立てて取組や対応等をまとめています。不審者侵入を想定した訓練は、両保育所において石巻警察署の指導をいただながら年1回実施しています。

# 女川町議会 議員養成塾

「議員になると、どんな仕事があるのか？」  
女川町議会議員について、よく知ってみませんか？  
「女川町議会議員養成塾」では、現役議員が直接お話しします！！

場所：生涯学習センター研修室・女川町役場議場

	日 時	内 容
第1回	6月25日（木） 午後7時～	・開講式 ・地方議会議員として地域のために考えるべきこと
第2回	7月23日（木） 午後7時～	・女川町議会議員の処遇と1年間の活動
第3回	8月20日（木） 午後7時～	・町財政と行政用語※
	8月27日（木） 午後7時～	・委員会と行政用語
第4回	9月3日（木）から （9月定例会会期中）	・議会の傍聴
	10月8日（木） 午後7時～	・議会議員として考える町の将来と地域振興※
第5回	10月15日（木） 午後7時～	・議会議員への立候補 ・選挙に関する座談会 ・閉講式

※昨年度の議員養成塾参加者も出席できるよう、一部の講座を選択式で実施します。  
どちらかを選択して出席していただきます。（両方出席してもOK!）

## 申込み・問合せ先

お電話で申し込みください。  
女川町議会事務局  
Tel 0225-54-3131（内線312）

**申込みメ切 令和8年6月19日（金）午後5時まで**

主催：女川町議会

# 広 報

銅賞

全国町村議会広報表彰表紙デザイン

入選

第45回議会広報選考会



今回、全国町村議会広報表紙デザインで銅賞（4位）を受賞した表紙写真は、おながわ春のまつりの第10回津波伝承女川復幸男でトップの選手がゴールする直前の写真を収めた1枚です。写真のインパクトや「逃げろ！走れ！高台へ！」の写真のフレーズや裏表紙への写真説明についても評価をいただきました。

## ギカイの視点

この度2つの賞を受賞することができましたが、町民の皆さんのこれまでの活動や広報誌への協力の賜物です。今後も広報誌制作にご協力をお願いします。

# 委員会 レポート

# 広報表紙デザイン

# 全国4位

## 初の快挙

全国町村議会広報表彰 第40回広報コンクールの表紙部門で、議会だよりおながわNo.180が銅賞の第4位を受賞しました。また、宮城県町村議会広報コンクールで入選を果たしました。全国での表彰はこれまでの女川町議会でも初の快挙です。これまで脈々と受け継がれてきた町民を主体とした広報誌づくりに評価をいただきました。

## 総務民生

# 暮らしを支える住宅政策

### 調査内容

家賃軽減制度や入居要件の緩和が実施される一方、収入超過による退去や空室などの課題を確認しました。空き家対策の推進に向けた連携状況についても確認し、今後のより効果的な施策展開の必要性を共有しました。



### ギカイの視点

住宅に困窮する方への公平な提供と居住の安定の両立を図るため、空室の有効活用も含め、住宅施策についてより実効性のある提言をしていきます。

## 産業教育

# トリガイ養殖の可能性は

### 調査内容

近年、地球温暖化等の影響により海水温の上昇傾向が続いており、養殖業においては、養殖生物の生育環境の変化やへい死のリスク増加など、経営に直結する深刻な課題が生じています。このような環境下で「海水温上昇下での養殖業について」を所管事務調査としました。



### ギカイの視点

委員会では幅広い養殖業の中から今後の可能性としてトリガイに着目し、研究から試験養殖などの調査を進めていきます。

# 委員会 レポート

## ふるさと納税 町のポテンシャルを活かして

### 議会全体で調査

議会の常任委員会は、産業教育と総務民生の2分野で町行政の執行業務を部門別に所管事務調査しています。今回は両常任委員会が合同で「ふるさと納税」についての調査を実施します。ふるさと納税を通して町の魅力を全国に発信することで、町のPRや事業者の売上向上など地域活性化にも繋がります。



### 調査ポイント

4月9日に担当課からの現状の取組みや課題等の説明を受けました。今後は以下の点を中心に先進地等への視察を実施しながらふるさと納税への取組強化について執行部に提言していきます。

- ✓ 行政と町内事業者との連携
- ✓ 返礼品を含めた広報・PR
- ✓ 新規メニューの創設
- ✓ リピーターの獲得

### データで見るふるさと納税 2025年



全国  
ランキング

**1549位**

全国の市町村数は1741

ふるさと納税額は、全国で1549位に位置しています。本町の復興からのまちづくりや、三陸の海に恵まれた海産物など町の取組や商品などを適切にPRすれば全国の上位も狙えるのでは。



宮城県  
ランキング

**31位**

宮城県の自治体数は36

他の市町村は自治体規模も異なるので、寄付金額だけが指標ではありませんが、近年では気仙沼市や石巻市がふるさと納税で寄付額を大幅に増やしています。他の自治体からも学ぶべき点は多いです。



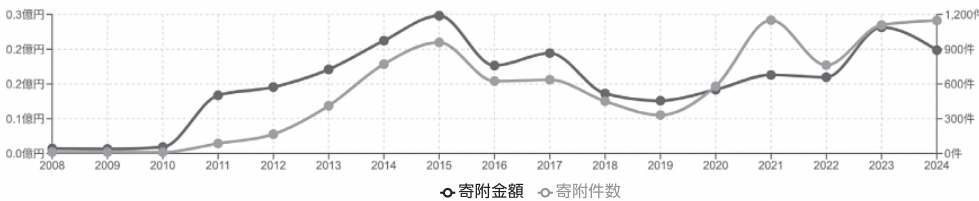
ふるさと納税額

**2,381万円**

過去最高は2015年の3171万円

近年は増加傾向にあり、寄付額も2,000万円後半を維持しています。但し他の市町村も寄付額を増やしており、本町も5,000万円を通過点に1億円まで伸ばせるポテンシャルは秘めています。

### 女川町のふるさと納税推移グラフ



### 2025年宮城県ランキング一覧

自治体	宮城県	全国順位	ふるさと納税額	自治体	宮城県	全国順位	ふるさと納税額
気仙沼市	1位	10位	121.65億円	多賀城市	19位	957位	2.03億円
角田市	2位	38位	49.2億円	巨理町	20位	1023位	1.74億円
大河原町	3位	72位	31.26億円	栗原市	21位	1039位	1.66億円
石巻市	4位	138位	20.1億円	大和町	22位	1058位	1.56億円
塩竈市	5位	289位	10.67億円	村田町	23位	1068位	1.53億円
仙台市	6位	310位	10.16億円	南三陸町	24位	1179位	1.09億円
岩沼市	7位	353位	9.15億円	川崎町	25位	1192位	1.06億円
白石市	8位	363位	8.85億円	松島町	26位	1232位	9,152万円
※宮城県	9位	392位	8.01億円	丸森町	27位	1259位	8,664万円
登米市	10位	420位	7.37億円	大郷町	28位	1373位	5,653万円
利府町	11位	449位	6.86億円	涌谷町	29位	1393位	5,160万円
蔵王町	12位	472位	6.45億円	山元町	30位	1416位	4,549万円
大崎市	13位	498位	6.1億円	<b>女川町</b>	<b>31位</b>	<b>1549位</b>	<b>2,381万円</b>
柴田町	14位	559位	5.44億円	美里町	32位	1574位	2,072万円
東松島市	15位	771位	3.22億円	色麻町	33位	1578位	2,060万円
富谷市	16位	861位	2.59億円	七ヶ浜町	34位	1608位	1,617万円
加美町	17位	911位	2.32億円	大衡村	35位	1701位	766.7万円
名取市	18位	930位	2.18億円	七ヶ宿町	36位	1768位	70.8万円

## 議員研修

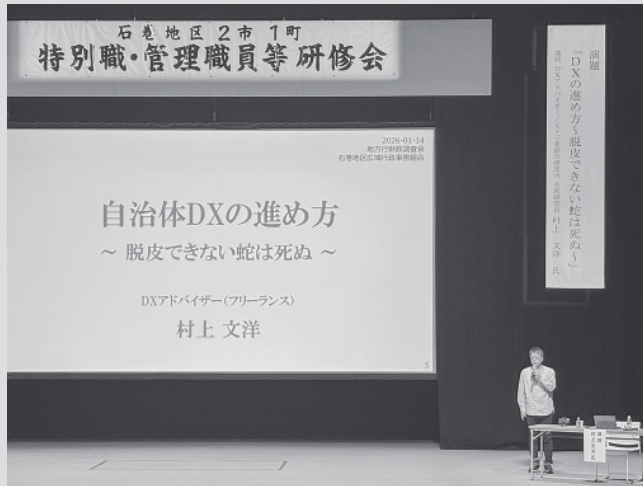
1/14

### なかなか進まないDX

2市1町特別職・管理職員等研修会 ～マルホンまきあーとテラス～

講師にDXアドバイザーの村上文洋氏を迎え、「DXの進め方～脱皮できない蛇は死ぬ」と題する講演があった。

我が国が抱える最大の課題は、人口減少問題であり、その為にまずは少子化対策で、あらゆる施策を総動員して人口減少を食い止める事が必要である。



#### ギカイの視点

DXの推進や生成AIを使って、いろいろな角度からの変革が必要である。

## 議員研修

1/22

### 進めよう、地方議会の活性化

宮城県町村議会議員講座 ～宮城県自治会館～

講師に東京大学先端科学技術研究センター教授の牧原出氏を迎え「地方制度改革下の地方議会」と題し、講演があった。

持続可能な地方行財政研究会により、二つの課題が同時に登場した。



長期的な課題として、人口減少にどう対処するかと、もう一つは、新型コロナウイルス感染症対策などの危機対応をどう地方自治に生かすかという内容である。

#### ギカイの視点

人口減少や少子化社会を踏まえて、女川町の将来のあり方を考えなくてはならない。

## 2/7 地道に返還要求を継続

第44回「北方領土の日」宮城県塩竈集会 ～塩竈市民交流センター～

2月7日の「北方領土の日」を迎えるにあたり、全国民の悲願である北方四島の日も早い返還実現を目指し、さらなる国民世論の結集を図るため、第44回「北方領土の日」宮城県塩竈集会が開催された。

当日は、塩竈市の中学生の北方領土青少年等現地視察体験発表があり、その後、記念講演の後、大会決議をして次期開催地の栗原市長へ大会旗が引き継がれた。



### ギカイの視点

「北方領土の日」の若者世代等への周知・啓発活動を行うことが重要である。

## 2/9～2/10 議会の活性化で、なり手不足の解消

宮城県町村議会正副議長研修会 ～東京・ホテルルポール麹町～

一日目は、「人口減少社会における自治体議会の役割」をテーマに、明治大学政治経済学部  
の牛山久仁彦教授を講師に、地方分権と自治体議会をとりまく環境の変化等について講演があ  
った。地方分権時代の自治体議会に求められる著しい人口減少、議員のなり手不足などに直面  
している環境下で、どのような議会の姿を描くか、今後の我々議員に課題を与えてもらった内  
容であった。



二日目は、日本大学岩井奉信名誉教授を講師に、「政  
局の行方」と題して、講演があった。

衆議院議員選挙の結果が確定してからの講演となり、  
予定していた講演内容に加えて、選挙結果の所感と分析  
も踏まえ、これからの政治・政局の展望、与党・野党の  
今後のあり方をわかり易く解説してもらい、今後の議員  
活動の参考になった。

また、毎年活動していた宮城県関係国会議員への要望  
活動は、先の選挙を考慮し、要望書を送致することで終  
結した。本町に係る要望事項として、国道398号石巻バイ  
パス沢田工区の早期完成と国道398号桐ヶ崎から竹浦間  
及び指ヶ浜地区狭隘箇所の整備早期着工を強く要望した。

女川で輝いている人、団体を紹介しています。

キラキラ・いきいき

# 島の暮らしを守る

## 安心の架け橋シーパル女川汽船



安心安全運航に努めます

荒波を読み、安全を届けるプロ集団

昨年、出島に「出島大橋」が開通し、女川の交通は大きな節目を迎えました。現在、町内で唯一の有人離島となった「江島(えのしま)」と本土をつなぐ唯一の定期航路を守っているのが、シーパル女川汽船です。島民約40人の大切な「足」として現在「しまなぎ」が1日3便運航しています。現場を支えるのは、甲板員4名機関員4名の計8名体制。交代制で日々の安全運航を徹底しています。

「最も神経を使うのは天候の判断です」と語る船長の佐藤さん。女川港内は穏やかでも、一步外洋(原発付近から先)へ出れば波の高さも性質も一変します。

常に先を予測し、揺れる船上でも乗客が安心して過ごせるよう、細心の注意を払う姿はまさにプロの仕事です。

令和8年度、待望の新船就航へ

現在、令和8年度内の就航に向けて新船「しまあかり」の準備が進んでいます。

- ・高い走破性・サイズは現行よりわずかにコンパクトになりますが、外洋での安定感はずば抜けた。
- ・最新設備・離着岸をスムーズにする「パウストラスター」や、潮位の差をカバーする大型リフトを完備。高齢の方の乗降や荷揚げがよりスムーズになります。
- ・環境への配慮・燃費効率の良い近代的なエンジンを搭載し、管理コストの削減と環境負荷の低減を両立します。



新船「しまあかり」まもなく就航

受け継がれる100年の絆



なつかしいなあ、レスボワール

江島航路の「100年前」に遡ると、大正から昭和初期にかけて、すでに島民の生活物資や交通を支える「通い船」の文化が定着していました。

戦後、昭和20年代後半には組織的な「江島汽船」としての体制が整い、長らく「江島汽船」と「丸中金華山汽船」がそれぞれ島の島(江島・出島)への航路を担ってきましたが、経営合理化と航路維持のため、平成17年に町と島民が出資する第3セクター「シーパル女川汽船」が誕生。これにより100年続く「島の足」が公的に守られる形となりました。

つながるバトン

大正時代から続く伝統芸能が息づく江島。その暮らしを支える航路もまた、100年以上にわたる形を変えながら、島民の命をつないできました。かつての個人運航から現在のシーパル女川汽船へと、そのバトンは今、新船「しまあかり」へと引き継がれようとしています。



委員 長	宮元 潔
副委員 長	隅田 翔
委員	宮坂 千尋
委員	鈴木 良徳
委員	阿部 薫
委員	阿部 律子
発行責任者	阿部 律子
議長	佐藤 良一